

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人福田覺太郎の上告趣意（後記）は、刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。  
また記録を精査しても同四一條を適用すべきものとは認められない。よつて同四  
一條、三八六条一項三号により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年五月四日

最高裁判所第二小法廷

|        |   |   |   |     |
|--------|---|---|---|-----|
| 裁判長裁判官 | 霜 | 山 | 精 | 一   |
| 裁判官    | 栗 | 山 |   | 茂   |
| 裁判官    | 藤 | 田 | 八 | 郎   |
| 裁判官    | 谷 | 村 | 唯 | 一 郎 |

裁判官小谷勝重は出張中につき署名押印することができない。

|        |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|
| 裁判長裁判官 | 霜 | 山 | 精 | 一 |
|--------|---|---|---|---|